



かわら版

【第187号】

総務課 広報担当

年頭のごあいさつ



財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院
院長 春山 和見

新年あけましておめでとうございます。

新年早々ではありますが、やはり原発問題に触れざるを得ません。現在、廃炉に向けての作業は五里霧中の状態。汚染物質の最終処分場は宙に浮いたまま。自民党においては推進政策をとってきたにもかかわらず、総括のない御都合主義。そんな中で唯一の希望は原子力規制委員会の発足です。今後、委員会の方針が政治的に歪められることなく学術的知見に基づく規制を敢行してもらいたいものです。また、先月行なわれた衆議院選では、数多くの難題に対し正面突破のできる政治に期待したいと思います。

ともあれ、寿泉堂香久山病院では現在、病棟の再編を行っています。すなわち第2病棟の入院基本料を現在の基本料2から1へ転換をはかっているところです。基本料1と2の違いは医療の必要性の高い患者さんの割合が病棟単位で80%以上が1、80%未満が2と区別されております。そのため院内では本人または御家族の同意を得ながら、ゆるやかではありますが病棟間での転床をお願いしているところです。これは国の方針である選択と集中によって職員の情報の共有化と効率化をはかり医療費の抑制を目指しているものと考えられます。また昨年の9月に ISO-9001、14001のサーベイランス審査があり、良い評価をいただきました。引きつづき医療の質の向上につとめてまいります。

最後になりましたが皆様方のご発展、ご健勝を祈念して年頭の挨拶といたします。

クリスマス会と キャンドルサービスを実施！

クリスマスには少し早い12月13日、恒例のクリスマス会をリハビリテーションセンターで開催いたしました。鬼満医師のマジックショーに続いては新入職員によるラインダンスです。テンポ良い音楽に合わせて全員が一斉に同じステップを踏むダンスを披露し、大いに会場を沸かせました。その他、美しい音色でクリスマスソングを演奏したハンドベルや、郡山女子大生による演奏や歌唱、最後には下町座が“水戸黄門”を演じ会場から笑いが沸き起こりました。参加した患者さんから驚きの表情や笑顔など、楽しんでいる様子が垣間見られ、スタッフもまた、充実した時間を一緒に過ごすことができました。

(クライアントレク実行委員会)



夕方からはもう一つのイベントとして「キャンドルサービス」を行いました。郡山東高校の生徒さんと当院スタッフがサンタやトナカイに扮し入院患者さん一人ひとりに「メリークリスマス」と声をかけながら、クリスマスプレゼントを手渡しました。とても喜んでいただけたようです。

(ボランティア育成実行委員会)